

平成10年度 Block. 5

課題 No. 2

「山内 孝さんの場合」

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。



T. W. M. C

〈課題番号〉 1998-B5-2

〈課題名〉 山内 孝さんの場合

NO. 1

山内孝さんは32歳の男性である。4ヶ月前から全身倦怠感が出現した。1ヶ月前職場の健康診断で、末梢血の白血球が5万8千と増加しており、専門医を受診するように連絡を受けた。

初診時のカルテの要約

主訴:全身倦怠感

既往歴:特記すべきことなし。

家族歴:特記すべきことなし。

現病歴:4ヶ月前から全身倦怠感が出現した。

1ヶ月前職場の健康診断で、末梢血の白血球5万8千と増加しており、専門医を受診するように連絡をうけた。

2週間前から上腹部膨満感を自覚するようになった。

身体所見では、腹部で脾臓を季肋下4横指触知した。

検査所見は以下のとおりである。

末梢血: WBC 75,000/ μ l (seg 65%, eos. 8%, baso 12%, mono 1%, lym 14%), 末梢血塗抹標本を資料に示す。RBC $460 \times 10^4 / \mu$ l, Hb 14.3g/dl, Ht 45.6%, Plt $55 \times 10^4 / \mu$ l, Ret 5‰

NO. 3

T. W. M. C

〈課題番号〉 1998-B5-2

〈課題名〉 山内 孝さんの場合

山内さんは初診後ただちに骨髄検査を行った。

骨髄検査： 有核細胞数 $56 \times 10^4 / \mu l$ 、巨核球数 $8 \times 15.6 / \mu l$

骨髄標本を資料に示す。

染色体検査（骨髄細胞）： 染色体分析写真を資料に示す。

T. W. M. C

NO. 4

〈課題番号〉 1998-B5-2

〈課題名〉 山内 孝さんの場合

山内さんは外来で皮下注射による治療を開始した。外来で注射の練習した後、自宅で自己注射していたが、注射後時々発熱した。山内さんは兄弟がいなかったため、骨髄ドナーバンクに登録した。